

第17回免震フォーラム
『免震建築のこれからを考える』
一般社団法人日本免震構造協会主催

日時： 2017年12月18日(月) 13:00~17:00(受付12:15~)
会場： 「日本青年館ホテル」8階会議室 「カンファレンスルーム イエロー」
参加費： 5,000円(資料代を含む)
定員： 170名(定員になり次第締め切らせていただきます)
今回のフォーラムのご参加は、会員の方(第1種、第2種、賛助)のみに限らせていただきます。

◇趣旨◇

免震建物が国内で初めて施工されてから約35年、戸建て住宅を除く免震建物は既に4000棟が建設されている。この間に、昨年の熊本地震や東北地方太平洋沖地震など大規模地震においても免震性能の有効性が実証され、一般の方々への認知度も随分と高まっている。しかし、一方で、免震装置の地震による二方向変形時の変形能力低下や繰返し振動に伴うアンカーボルトの緩み、エキスパンションジョイントの変形追従性など、免震建築に携わる設計者、技術者の想定が必ずしも十分でないことも露呈した。また、東北地方太平洋沖地震以降、以前より課題とされていた長周期・長時間地震動への対応も現実のものとなり、フェールセーフ機構など新たな課題への取り組みも求められている。

本フォーラムでは、免震建築の現状での課題を整理し、これからの免震建築はどうあるべきかについて考える場としたい。会場からの活発なご意見を期待する。

◇プログラム◇

		司会 久野 雅祥・千馬 一哉	
13:00~13:05	開会挨拶	日本免震構造協会 会長	和田 章
13:05~13:10	趣旨説明	教育普及部会 委員長	前林 和彦
13:10~13:50	【基調講演1】	「数千年に1度の地震と想定すべき設計用・検証用地震動」 工学院大学 教授	久田 嘉章
13:55~14:35	【基調講演2】	「免震建築の現状の課題と将来展望」 北海道大学 教授	菊地 優
14:40~14:50	休憩		
14:50~15:15	「長周期地震動に対応した免震ゴム最新技術の動向」 ブリヂストン		森 隆浩
15:15~15:40	「免震建築のディテールを点検する」 松田平田設計		藤森 智
15:40~16:05	「積層ゴムの経年変化について」 奥村組 竹中工務店		上 寛樹 濱口 弘樹
16:05~16:30	「これからの免震建築に向けた提言」 織本構造設計		中澤 昭伸
16:30~17:00	質疑・応答		
17:00	閉会		

追記

申込方法：

当協会ホームページの「講習会等のご案内」ページよりお申込下さい。追って、「申込番号」が記載された申込確認のメールをお送りします。フォーラムの当日は、その申込確認メールを印刷して受付までお持ち下さい。

一般社団法人日本免震構造協会事務局(担当：河野)

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-3-18 JIA 館2階

ACCESS アクセス

日本青年館ホテル

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-1

TEL 03-3401-0101 / FAX 03-3405-5830



日本青年館ホテル 8階会議室
「カンファレンスルーム イエロー」
★青年館ホールではありません。
ご注意ください。

東京メトロ銀座線 外苑前駅 3番出口 徒歩5分
都営大江戸線 国立競技場駅 A2番出口 徒歩10分
中央線・総武線（各停）千駄ヶ谷駅 徒歩12分
中央線・総武線（各停）信濃町駅 徒歩12分